

第 1 回相馬市下水道審議会議事録

開催日時	令和 7 年 7 月 9 日 14 時 00 分～15 時 30 分
出席者	委員 6 名（委員総数 8 名） 相馬市長 事務局 萩野建設部長、津田建設部参事、多田下水道課長 保坂下水道課長補佐、加藤業務係長、青田主査
会議内容	開会 委嘱状 市長あいさつ 会長及び副会長の選出 市長より審議会への諮問 議事等 （1）スケジュール及び審議内容 （2）下水道事業の概要 （3）下水道を取り巻く環境 （4）下水道事業の経営状況 （5）下水道使用料について 閉会
会議資料	次第 委員名簿 会議資料
議事内容	
1. 開会 （司会 保坂） 2. 委嘱状交付 代表で阿部委員に交付 3. 市長あいさつ 4. 会長及び副会長の選出 阿部委員より、会長に草野委員、副会長に唯野委員の声あり 会長 草野委員 副会長 唯野委員 に決定 会長よりあいさつをもらう 5. 市長より審議会への諮問	

市長から草野会長へ諮問書の提出

6. 議事等

(1) スケジュール及び審議内容

事務局〈資料に基づき説明〉

(2) 下水道事業の概要

●事務局〈資料に基づき説明〉

○委 員 マンホールの清掃はどこで行っているのか。

●事務局 公共枿から下流の施設は市が行っている。

(3) 下水道を取り巻く環境

●事務局〈資料に基づき説明〉

○委 員 東日本大震災の被災エリア内に残っているマンホール等があるが老朽化は大丈夫か。

●事務局 当該地域にはコンクリートに比べ耐久性が高いとされる塩化ビニール製の管が入っている。概ね 75 年ほどの耐用年数があると評価されており、当面の間は陥没するようなことはない想定される。

○委 員 老朽化対策としての計画的な更新について具体的に伺いたい。

●事務局 管渠と処理場などの施設とに分け、現在計画を策定中である。
施設については下水処理場の改築を今後 2、3 年のうち着手の予定である。
管渠については、カメラ調査・点検の内容を踏まえて、5 年以内に改築等に着手する予定である。

(4) 下水道事業の経営状況

●事務局〈資料に基づき説明〉

○委 員 下水道区域ではないため浄化槽を使用しているが、下水道使用料と浄化槽の維持費を比べると不公平だと感じる。

○委 員 浄化槽の設置には補助があるのか。

●事務局 一般家庭の新築または単独浄化槽や汲み取り式からの転換に対する補助を行っている。

○委員 下水道区域内では浄化槽を選択することができないのか。

●事務局 農業集落排水事業区域では接続するか選択できるとしている。
また、区域外でも自費による接続は可能となっている。

(5) 下水道使用料について

●事務局〈資料に基づき説明〉

○委員 県内で使用料の改定を行っているところはあるか。
相馬市の改定はいつを予定しているのか。

●事務局 白河市が今年の10月から値上げを予定している。
いわき市は昨年4月に値上げを行っている。
本市については、令和8年4月1日からの改定を検討している。

7. 閉会